

環境マネジメントシステム導入報告書

(宛 先) 京 都 市 長		平成26年 7月 3日
報告者の住所（法人にあつては、主たる事務所の所在地） 京都市伏見区横大路千両松町78番地		報告者の氏名（法人にあつては、名称及び代表者名） 光アスコ株式会社 代表取締役 喜多川 光世
京都市地球温暖化対策条例第22条第2項の規定により報告します。		
環境マネジメントシステムの名称	ISO14001	
適用範囲	クリーンセンター RPFセンター	
導入年月日	2005年 2月17日	
認証番号	JMAQA-E 538	
基本方針	地域社会の環境保護を第一に考え「地球をきれいに」をモットーに、産業廃棄物を安全かつ適正な処理をする中間処理施設として、その減量化・無害化を実現することにより、人が安心して暮らせる豊かな環境づくりを目指す。	
環境に配慮した事業活動を自主的に進めていくための目標（以下「目標」という。）	<ul style="list-style-type: none"> ・ 建機・車両による排ガスと騒音の低減 ・ 省資源・省エネルギーの促進 ・ 排ガス、ばいじんの減量化とクリーン度の向上 ・ 産業廃棄物の減量化と無害化のさらなる推進 ・ 施設見学を含む環境啓蒙活動への協力 	
目標を達成するための取組の内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ 廃棄物の荷降ろし時間の短縮 ・ 運転体系の向上による電力使用量の削減 ・ 安定した燃焼温度、滞留時間、ガスの混合により、廃棄物の完全燃焼を心がける。 ・ 地域の清掃など 	
目標を達成するための取組の進捗状況	2013年度は全ての項目について目標を達成し、2014年度についても目標達成に向けて会社全体で取り組みを行っている。	
目標を達成するための取組の成果及び当該成果に対する評価	2013年度は、全ての項目について目標を達成した。	
事業活動に係る法令の遵守の状況	会社全体で法令を遵守した事業活動を行っている。	
環境マネジメントシステムの評価及び見直しの内容	焼却炉が稼働して2年になる。突発故障を防ぐ為にプラントメーカーとオーバーホールについて検討し計画する事。 RPFセンターの処理効率の向上が見られない。受入廃棄物の内容に問題があると推測。受入廃棄物を改善する事。	

注 認証番号の欄は、導入した環境マネジメントシステムについて第三者の認証を受けている場合のみ記入してください。